



## 再現できるか

史上最短の梅雨明けだそうです。教室のエアコンも温度を抑えめにしつつフル稼働です。この暑い夏がこのまましばらく続くのでしょうか。とにかく熱中症には気をつけましょう。

さて、現在の中3は1年の時は旧課程の教科書、2年から新課程の新しい教科書を使っている学年です。だから中1から中2にかけてスムーズに勉強が進んだとはいえない人もたくさんいます。特に英語は千葉市の公立中学の場合、教科書会社まで変更され、単語や文法の学習のつながりがプツンと切れた状態になっていました。数学にしても統計分野の「箱ひげ図」などはもともと高校の教科書に載っていた項目です。しかしそんな状況乗り越え、今回の定期テストで中学入学後これまでの中で最高得点を獲得した人が複数人います。本人の頑張りはもちろんですが、やっと新課程でのテストに慣れてきたこともあるのではないのでしょうか。反対に学校や塾の授業ではそれなりにわかっているようなのに、なかなか成績に結びつかない人に共通のことは「再現力」の不足かもしれません。

例えば職場体験で行った先で仕事の内容をやって見せてくれたとします。その時は「手順はわかったし大丈夫」と思っている、いざ自分一人でやらなければならない時にすんなり再現できますか？テストで得点するにもここがポイントになります。初めて学習することを説明されてわかった気がする、そしてそれを頭の中の引き出しにしまっておく。でもそこからもう一度出してみることをしなければ、どの引き出しだったかを忘れてしまいます。「何となく、こんな感じだった」は再現したことになりません。愛知県と愛媛県の位置を取り違えて書いたりする人は要注意。でも自分が間違えたところを思い出せるようになれば話は別。頭の中に住所ができて、それぞれの科目の学習ポイントにたどり着けるようになるからです。

そしてたとえ応用問題にしても2つか3つの要素を組み合わせただけ。それぞれをしっかりと再現できている人には解き方の道筋が見えてくるはずですよ！